

# 平成22年度第3回印西クリーンセンター環境委員会 会議録(概要版)

1. 期 日 平成22年12月4日(土) 午前10時～午前11時45分

2. 場 所 印西地区環境整備事業組合3階大会議室

3. 委員出欠状況

☆甲(10名中 10名出席)

☆乙(24名中 16名出席)

☆傍聴者 1名

☆事務局 2名  
会議次第

1. 開会

2. 事務局長あいさつ

3. 議長選出(乙側委員)

4. 議事録署名人の選出(議長、甲側委員、乙側委員)

5. 報告事項

・印西クリーンセンター操業状況について

表一1(ごみの搬入量及び焼却量)

・平成22年8月のごみ搬入量は、3,714 t(うち事業系865 t)、ごみ焼却量は、3,154 t

・平成22年9月のごみ搬入量は、3,430 t(うち事業系797 t)、ごみ焼却量は、3,272 t

・平成22年10月のごみ搬入量は、3,520 t(うち事業系819 t)、ごみ焼却量は、3,581 t

・平成22年4月～10月のごみ搬入量合計は、25,560 t(うち事業系5,810 t) ごみ焼却量は、23,714 t

表一2(排ガス測定)

・6月30日に1号炉を測定した結果、全て協定値の範囲内でした(ばいじん濃度、硫酸化物濃度、窒素酸化物濃度、塩化水素濃度、ダイオキシン類排出ガス)。焼却灰、処理飛灰については、規制値の範囲内でした。

表一3(騒音・振動測定)・7月23日に測定した結果、全て協定値の範囲内でした。

表一4(悪臭物質測定)・9月1日に測定した結果、全て協定値の範囲内でした。

表一5(臭気濃度測定)・9月1日に測定した結果、敷地境界及び臭突出口では、目標値以内でした。

・煙突出口では、1回目1,000、2回目790でした。

表一6(処理水の水質測定)・7月23日に測定した結果、全て協定値の範囲内でした。

表一7(大気測定車による測定)

・8月3日から9月2日に木刈中学校で測定し、光化学オキシダントの1時間値で、57回環境基準値を超えていた。光化学スモッグ注意報の発令は、期間中なし。

表一8(排ガス中の重金属の測定)・6月30日に測定した。

表一9(ごみ質分析)・平成22年8月27日に行った結果は、紙類46.3%、厨芥類9.6%、布類3.4%、草木類15.1%、プラスチック類20.4%、ゴム類2.1%、金属類0.6%、ガラス類0.1%、セト物・砂・石1.2%、その他1.2%、水分48.8%、見掛比重0.183kg/l、低位発熱量1,970kcal/kg

【質疑応答】

[乙委員] 臭気濃度測定(2)煙突出口で、1回目は1000、2回目が790となっております。

[甲委員] 分析方法が三点比較式臭袋法ということで、6人の人間の鼻でその臭気の強度をはかる方法で、3つの中から1つを選ぶことを外れるまで繰り返すので、3割3分の確率で当たる可能性はあると。

[乙委員] この500とか1,000という値は、どういう算式で出るのか教えていただきたい。

[議長] 鼻に敏感な方が半分に薄める、100分の1に薄めるというようにやり、500分の1に薄めたらにおわなくなるというのは、臭気濃度500です。

[乙委員] 悪臭物質測定ですが、去年のデータを見ましたら硫化水素が4倍になっていますが。

[甲委員] 敷地境界での臭気物質ですから、外部から通ってきたものが、また外部に出ていったという判断がこの数字からは一応読み取れると考えてございます。

[乙委員] 表1のところで2号炉運転している日が8月はゼロですが、理由があるのでしょうか。

[甲委員] ごみの搬入量が3号炉1号で間に合っています。

[乙委員] 定期修理はどのような予定になっているのでしょうか。

[甲委員] 3号炉の定期修理は10月、11月に行いまして、1号、2号が来年1月、2月から3月に行います。

[乙委員] 栄町が1人1日当たりのごみの量が多いという傾向が続いていますが、何か原因がありますか。

[甲委員] 人口が減少しておりまして、引っ越しが多いという理由で粗大ごみの搬出が多いと聞いております。

6. その他

(1) 次期中間処理施設整備検討委員会について(事務局説明)

【質疑応答】

[乙委員] 経済性についてさらに精査研究するというのは、一体どういうことなのか。

[甲委員] 年度ごとの負担額が変わりますので、実負担額を明らかにしていくことが経済性の評価です。

[乙委員] 約1年かけて3カ所を2カ所に絞ったのですが、草深地先で熱供給できるという話はないですね。

[甲委員] 管理者、副管理者会議の中では3カ所ということで位置づけをしてございますので、印西市の見解、経済性の比較、熱利用に関する比較、スケジュール等も踏まえて、トータル的なところで管理者、副管理者会議の中で決定をしていただくことを考えております。

[乙委員] 今後どういう手順で最終的に候補地が決まっていくのでしょうか。

[甲委員] 管理者、副管理者会議の中で決定をしていくということですので、決定結果は、議会に報告をさせていただきたいと思っております。

[乙委員] 手順として管理者会議でここに決めました、組合議会にも説明して理解を得ましたとか、明確なものを残すべきだと思うのですが。

[甲委員] 全員協議会で説明をさせていただき、ご理解をいただくと。

[乙委員] その意思の確認方法は。

[甲委員] 全員協議会で説明をさせていただき、議員10人の方々の意見が出てくると思うのです。全協は議長がいますので、意見が集約されていくと思っております。

[乙委員] 設置場所を決める際、住民の同意は必要ないと聞いたのですが、法律上の根拠は。

[甲委員] 補助金の要綱の中から同意ではなく理解を得るという表現に変えられてございます。

現在は交付金に変わっていますが、同様の確認するすべとして、一番大きいのが環境影響評価で、節目に住民の意見をいただきながら、最終の評価結果を出す、パブリックコメント的な意見をいただくことがプロセスの中に含まれていますので、理解を得るという解釈だと考えております。

[乙委員] 印西市の回答で地元対策って一体何でしょうか。

[甲委員] 印西市と打ち合わせを持って、どのようなことがいいのか、今後十分に考慮していきたい。

(2) 白煙防止装置の運用停止試験について (事務局説明)

【質疑応答】

[乙委員] 冬場の一番厳しいとき、白煙が見えるときに蒸気を使わないで白煙防止を停止してもらいたい。

[甲委員] 今後の操業の中でどの程度可能なかどうか、検討させていただきたいと思えます。

(3) 印西クリーンセンター環境委員会の開催日について (事務局説明)

【質疑応答】

[乙委員] 私は個人的には大賛成で、土曜日の年3回プラス臨時が一番いいかなと。

[乙委員] 開催回数を4回から3回に減らすことに賛成できませんし、2時間を原則として早く終わる分については構わないとすべきであると思えます。

[甲委員] 皆さんの貴重なお時間を使つての委員会ですので、余暇の時間を確保するという意味でも、この30分の短縮はぜひさせていただければと考えております。

[乙委員] 会議は少なくても時間も短いほうが良いので、この会議であれば3回で十分かなと思えます。

[議長] 次の3月の環境委員会で決めさせていただきたいと思えますが、いかがでしょう。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

(4) その他

[乙委員] 将来のごみ焼却施設の能力ですが、平成25年時点で決定するというお話を聞きました。

建設費に1日1トン当たり5,000万の金がかかるので、ごみ減量大作戦をやってほしい。

[甲委員] 組合、構成市町、調査研究しまして、取り組んでまいりたいと考えております。

[乙委員] ごみ収集袋の、品質管理はどういうようになっているのでしょうか。

[甲委員] 組合でごみ袋の指定要領がございまして、色、強度、大きさを規定しております。

[乙委員] その要領の中に、売られているごみ袋を検査することは書いてありますか。

[甲委員] 1年に1回、引っ張り強度と厚さについては任意の袋で確認していますが、その含有物については分析をしてございません。

[乙委員] 毎年実施計画や年報を作成していると思えますが。

[甲委員] 毎年策定しています。

[乙委員] ホームページに出してほしいと思えます。

[甲委員] 年間の操業状況ということで、ある程度要約した形で載せていきたいと思えます。

7. 閉会

[事務局] 次回、第4回の環境委員会の開催日時ですけれども、3月4日の金曜日、午後8時からこの会場で開催を予定しておりますので、よろしくお願いたします。